



千代田西部小学校

R3年度 第14号

令和3年 7月5日

文責 校長 田中裕子

「帽子をかぶる」

先日の学校だよりで規範意識をもつことの大切さをお伝えしましたが、帽子をかぶらずに炎天下で遊ぶだけでなく、何回注意されてもかぶらない児童がいました。30度を軽く超える運動場に長時間いたり、帽子無しで駆け回っていたりと、健康面や安全面でこちらの不安は募る一方でした。そこで、子ども達に着帽の理由を再度伝え、守れなかった場合の学校としての方針を伝えました。

するとどうでしょう。今週はすっかり帽子無しの姿はなくなり、全員が帽子をかぶって元気に遊んでいます。見ている方も安心です。たった帽子一つのことですが、守れるようになると他のことも良くなるから不思議です。予鈴でさっと戻れる子ども達も増えるのです。

1学期も残る10数日。夏休みまでの日々を気が緩むことなく、一日一日を大切に過ごさせたいと思っています。「服装の乱れは心の乱れ」とも言います。朝の着帽をご家庭でもお声かけくださいませ。

★★★★～陰山英男先生が千代田西部小学校に初来校～★★★★

神埼市内で取り入れている、スキルタイムの提唱者である陰山先生が、西部小に来てくださいました。そして、幸運なことに、2年生と5年生は「偶成」の暗唱にトライしました。少年老いやすく・で始まるあの詩を小学生が読むのです。本来は高校で学習します。できるのかというのは全くの杞憂でした。何人もの子ども達が前半2行はわずか10分少々で覚えてしまいました。翌日には、4行を暗唱できた子が何人もいたそうです。先生によると、この能力は小学校時代にしかないそうです。「限界を決めるな!」「できると思うことが一番大切」「賢くなろう!君たちは賢い!」という先生の熱い声に励まされ、子ども達は真剣な目で、何度も口ずさんでいました。

先生は、教師対象の研修会でも、「東大をめざせ!」とドラゴン桜の桜木先生にも負けない気迫で言われました。それは、子ども達の可能性を信じて、がんばれとのメッセージだと思います。子ども達の可能性は無限です!!



★親子読書のご提出、ありがとうございました。★

今年度は、これまで以上に読書の充実を目標に掲げ、図書担当の先生や担任とも協力し、取組を行っています。その一つがこの親子読書です。たくさんのご家庭で実践していただき、大変嬉しく思います。静かに本に向かう時間をもつことは、情緒の安定にもつながると思います。感想を幾つか紹介します。お子様の成長を感じられる時間にもなっているようですね★(図書だよりもご覧ください。)

- 1年:最初、私が読んでるとじっと聞いていましたが、読み終わると「自分も読む!」と言って、上手に声に出して読み始めました。とても上手にお話しできていたのでびっくりしました。
- 2年:楽しんで読む姿から、主人公の気持ちになったり、自分ならどうするかなどと考えたりしているんだなあ、より娘の思考を感じる事ができ、嬉しい時間でした。ありがとうございます。
- 3年:親子読書の回を重ねる毎に、自分が疑問に思うことや知らない言葉に対する質問など、積極的に尋ねるようになり、子供の成長を感じています。
- 4年:今まで親子読書では読んでもらうことが多かったですが、久しぶりに読んであげることができて良かったです。こんな時間をもっと取らなくてはと反省です。
- 5年:歴史の本が特に好きで、少し難しいけどチャレンジしています。親でも知らない歴史上の人物を子供から教わっています。
- 6年:普段は忙しくてなかなか本を読むことはないのですが、こういう機会に親子の時間が作れてよかったと思います。

ミニコンサート♪大成功

29日と1日の昼休みに、希望者によるミニコンサートが行われました。集会委員長さんが運営してくれました。ソロで歌う人、仲良しグループで歌う人、ピアノ演奏を披露する人など、とても微笑ましいものでした。100人以上も参観してくれました！！



手作りの折紙ランドセル

先日4年生の檜崎さんが、「作りました～」とにこにこして持ってきてくれました。

子ども達の器用さには感心します。ちゃんと飾らせてもらっています。



神埼情報館からのお知らせ

先日、案内を配布しましたが、「スラスラ書ける読書感想文講座」が夏休み中に開催されます。

毎回感想文が最後まで残るといのはよく聞く話です。土日の開催日もあります。

吉田絃二郎の本が使われますが、他の本の感想文書きにも役立つことが多いと思います。

ふるってご参加くださいませ。



ベルマーク寄贈

下西地区 内藤様より

以前はお子様が西部小に通っていたようで、ずっとベルマークを貯めていたそうです。先日学校に袋ごと持参くださいました。この場を借りてお礼申し上げます。



多読賞が続々と！

今月になり、校長室前の掲示に、多読者の名前が貼られるようになりました。全校児童がここに掲示されることを願っています。

来週、多読者賞を校長室にて贈呈します。おすすめ本も30冊読破した人が増えています。本好きは一生の財産です。

7月の全校朝会

学校ぜんたいにおちつき



ことばづかい

よびすて

あと少し...

めいれいする人 ⇔ めいれいされる人

らかなおもいを
する人 ⇔ いやな思いを
する人



なぜ さんづけをするの？

- だれが上、だれが下というさべつがなくなる
- かなしいきもちいやなきもちになることがへる
- おちついてすごせる



さんづけがとびかう教室

みなさんは どちらをえらびますか？

よびすてがはびこる教室

7月の全校朝会

2日の朝会はこれまでで一番静かで落ち着きの感じられる朝会でした。話の聞き方が抜群で、私語もなしです。1年生がここにいるとは信じられません。たった3ヶ月で見事に適応しています！

この3ヶ月で学校の落ち着きがぐっとよくなっていますが、あと少しなところが「呼び捨てが多い」ところだととらえています。「さんづけ」奨励していることは以前にも書きましたが、学校全体に問いかける形にしました。呼び捨てが横行すると差別が助長されます。それは決して許されることではありません。もちろん、発達段階に応じてですが、小学校段階では「さんづけ」を習慣にしたいと考えています。

他にも、生活の話ということで、梅崎先生からは服装のこと、池田先生からは整理整頓のこと、濱上先生からは運動場使用の約束を話してもらいました。その中で、整理整頓をすることで、①脳が活発に動く、記憶力がアップする ②気持ちも心も落ち着くことで、穏やかになる 等紹介してもらいました。また、やや乱れがちな服装についても、靴のかかとやボタンを留めることなどまで全員で確認しました。残り13日の1学期。やるべきことをきっちりやり終えて、終業式を迎えたいです。

家庭学習がんばり週間 7月5日～11日

今年度は新たに光武先生にカードを作ってもらい、実施することにしました。学習はやった分だけ結果が出ます。10分×学年プラス10分を毎日すること、土日は、高学年は中学校につながるためにも2時間は勉強してほしいです。また、学習用具チェックコーナーを入れていますので、一緒に点検していただけたらと思います。用具をきっちりそろえることが、学習への集中を生みます。